

NY マーケットレポート (2017 年 2 月 16 日)

NY 市場では、序盤に発表された米雇用関連や住宅関連の経済指標がまずまずの結果となったことや、フィラデルフィア連銀指数が 1984 年 1 月以来の高水準となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。しかし、ドル買い一巡後は、最近のドル高を背景とした利益確定のドル売りも見られ、また、上昇していた米債券利回りの低下も影響し、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

2017年 2月16日 (木)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	113.95	114.31	113.77
EUR/JPY	120.91	121.17	120.81
GBP/JPY	142.26	142.46	141.80
AUD/JPY	87.77	88.18	87.68
EUR/USD	1.0613	1.0625	1.0591

LONDON	高値	安値
USD/JPY	113.98	113.49
EUR/JPY	121.05	120.73
GBP/JPY	142.36	141.84
AUD/JPY	87.83	87.31
EUR/USD	1.0646	1.0610

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	113.24	113.84	113.09
EUR/JPY	120.88	121.14	120.69
GBP/JPY	141.44	142.23	141.26
AUD/JPY	87.11	87.64	87.01
NZD/JPY	81.81	82.10	81.72
EUR/USD	1.0676	1.0680	1.0633
AUD/USD	0.7693	0.7719	0.7687

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20619.77	+7.91
S&P500	2347.22	-2.03
NASDAQ	5814.90	-4.54
日経225 (CME)	19270	-145
トロント総合	15864.17	+19.22
ボルサ指数	47293.85	+132.11
ボベスパ指数	67814.24	-161.34

2/17 経済指標スケジュール

09:00 【シンガポール】4Q GDP
 09:30 【シンガポール】1月電子機器輸出
 09:30 【シンガポール】1月輸出[除石油]
 17:30 【スウェーデン】1月消費者物価指数
 18:00 【欧州】12月経常収支
 18:30 【英国】1月小売売上高指数
 19:00 【欧州】12月建設支出
 22:00 【ポーランド】1月生産者物価指数
 22:00 【ポーランド】1月小売売上高
 22:30 【カナダ】12月国際証券取扱高
 00:00 【米国】1月景気先行指標総合指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1241.60	+8.50
NY 原油	53.36	+0.25
CME コーン	381.00	-5.00
CBOT 大豆	1054.75	-17.00

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.206%	1.251%
3年債	1.504%	1.557%
5年債	1.938%	1.998%
7年債	2.257%	2.318%
10年債	2.448%	2.500%
30年債	3.051%	3.084%
ドイツ10年債	0.349%	0.373%
英国 10年債	1.259%	1.297%

2/17 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

20 : 50

＜ 要人発言 ＞

フィッシャーFRB 副議長

- ・「インフレ目標 2%の方向に向かっている」
- ・「賃金上昇は始まっており想定と大きく離れていない」

22 : 00

＜ 経済指標の結果 ＞

1 月ポーランド雇用（前月比） 2.8%（予想 1.1%・前回 0.1%）

1 月ポーランド雇用（前年比） 4.5%（予想 2.6%・前回 3.1%）

1 月ポーランド平均総賃金（前年比） 4.3%（予想 4.3%・前回 2.7%）



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

米新規失業保険申請件数 23.9 万件 (予想 24.5 万件・前回 23.4 万件)

米失業保険継続受給者数 207.6 万人 (予想 205.0 万人・前回 207.9 万人)

前回発表の 207.8 万人から 207.9 万人に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

経済指標データ

新規失業保険申請件数・継続受給者数>

	申請件数	・	前週比	・	4 週移動平均	・	受給者数	・	受給者比率
17/02/11	239,000	・	5,000	・	245,250	・	*****	・	*****
17/02/04	234,000	・	-14,000	・	244,750	・	2,076,000	・	1.5%
17/01/28	248,000	・	-12,000	・	248,500	・	2,078,000	・	1.5%
17/01/21	260,000	・	+23,000	・	245,750	・	2,063,000	・	1.5%
17/01/14	237,000	・	-12,000	・	247,500	・	2,103,000	・	1.5%
17/01/07	249,000	・	+12,000	・	257,000	・	2,059,000	・	1.5%
16/12/31	237,000	・	-30,000	・	258,250	・	2,093,000	・	1.5%
16/12/24	267,000	・	-8,000	・	263,500	・	2,116,000	・	1.5%
16/12/17	275,000	・	+21,000	・	263,750	・	2,105,000	・	1.5%
16/12/10	254,000	・	-4,000	・	257,750	・	2,039,000	・	1.5%

受給者数は集計が1週間遅れる

米失業保険申請件数は、前週比+0.5 万件の 23.9 万件となり、3 週ぶりに増加した。そして、節目となる 30 万件は 102 週連続で下回っている。申請件数の 4 週移動平均は、前週比+500 件の 24 万 5250 件だった。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-0.3 万人の 207.6 万人となり、2 週ぶりに減少した。受給者数の 4 週移動平均は、前週比+4250 人の 208 万 250 人。受給者比、前週比横ばいの 1.5%だった。

22 : 30

＜ 経済指標の結果 ＞

1 月米住宅着工件数 124.6 万件（予想 122.6 万件・前回 127.9 万件）
 前回発表の 122.6 万件から 127.9 万件に修正

1 月米住宅着工件数（前月比） -2.6%（予想 0.0%・前回 11.3%）

1 月米建設許可件数 128.5 万件（予想 123.0 万件・前回 122.8 万件）
 前回発表の 121.0 万件から 122.8 万件に修正

1 月米建設許可件数（前月比） 4.6%（予想 0.2%・前回 1.3%）
 前回発表の-0.2%から 1.3%に修正

経済指標データ

＜米住宅着工・許可件数＞

	1 月	・	12 月	・	11 月	・	10 月	・	9 月	・	8 月
住宅着工件数	124.6	・	127.9	・	114.9	・	132.0	・	105.2	・	116.4
一戸建て住宅	82.3	・	80.8	・	82.6	・	86.8	・	78.1	・	72.4
集合住宅	42.3	・	47.1	・	32.3	・	45.2	・	27.1	・	44.0

許可件数	128.5	・	122.8	・	121.2	・	126.0	・	122.5	・	115.2
一戸建て住宅	80.8	・	83.0	・	78.0	・	77.4	・	74.2	・	73.6
集合住宅	47.7	・	39.8	・	43.2	・	48.6	・	48.3	・	41.6

前月比（%）

住宅着工	-2.6	・	11.3	・	-16.5	・	25.5	・	-9.6	・	-4.4
住宅建設許可	4.6	・	1.3	・	-3.8	・	2.9	・	6.3	・	0.7

1 月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-2.6%の 124.6 万件と、2 ヶ月ぶりに減少した。前年比では+10.5%。前月に大きく伸びた集合住宅がマイナスとなったことが影響した。

①一戸建て住宅が前月比+1.9%の 82.3 万件と 3 ヶ月ぶりの増加、それ以外の集合住宅は 42.3 万件の-10.2%だった。

②地域別では、北東部が+55.4%、南部が+20.0%、西部は-41.3%、中西部は-17.9%だった。特に、南部の着工件数は 69 万件となり、2007 年 8 月以来の高水準となった。

③着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比+4.6%の 128.5 万件となり、2 ヶ月連続のプラスとなった。前年同月比では+8.2%。

④前月の着工件数は 122.6 万件から 127.9 万件に、許可件数は 121.0 万件から 122.8 万件に上方修正された。

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

2月フィラデルフィア連銀景況指数 43.3 (予想 18.0・前回 23.6)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀フィラデルフィア連銀指数▶

	2月	1月	12月	11月	10月	9月
景況指数	43.3	23.6	19.7	8.7	11.7	11.6
仕入価格	29.9	32.5	28.1	27.6	8.9	20.8
販売価格	10.6	26.8	8.0	16.4	-1.9	9.4
新規受注	38.0	26.0	14.9	15.2	17.3	5.3
出荷	28.6	20.5	21.7	16.6	15.5	1.4
受注残	10.7	10.7	3.6	3.3	-0.4	-8.1
入荷遅滞	4.1	5.4	5.4	3.7	-0.7	-6.4
在庫水準	-4.7	12.2	1.3	12.3	-10.4	-24.8
雇用者数	11.1	12.8	3.6	-4.1	-4.1	-5.1

2月の米フィラデルフィア連銀景況指数は、市場予想の18.0を大きく上回る43.3となり、1984年1月以来の高水準となった。また、前月の23.6からも上昇した。関連指数では、雇用者数が11.1（前月12.8）、仕入価格が29.9（32.5）、販売価格が10.6（26.8）と低下したものの、新規受注指数は38.0（26.0）、出荷が28.6（20.5）と大きく上昇となった。

0 : 40

◀ 要人発言 ▶

ロックハート・アトランタ連銀総裁

- ・「世界でインフレ圧力がやや見られる」
- ・「当局のインフレ目標の達成は思ったより早い」
- ・「自分の見通しは年2回の利上げを前提」
- ・「記者会見の予定がなくても金利変更は可能」
- ・「完全雇用に近い状況、なお雇用のたるみは残る」
- ・「強いドルは経済を抑制する要因となる可能性がある」
- ・「保護主義、制御不能になれば景気を損なう恐れ」

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、英 FT100 指数が、原油価格の下落を背景に、資源株を中心に売りが優勢となった。独 DAX 指数は、為替市場でユーロ高ドル安が進んだことで、輸出企業の収益悪化懸念から反落となった。



出所：Bloomberg

3 : 20

《 要人発言 》 トランプ米大統領

- ・「国内外の状況については、前政権から泥沼の状態を引き継いだ」
- ・「国外では力を通じた平和を追求する」
- ・「米国を守るための新たな大統領令を、来週発令する」
- ・「税制改革、今交渉の最中だ」

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 8.30 ドル高の 1 オンス=1240.00 ドルで取引を終了した。

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したため、ドルの代替資産とされる金の買いが先行した。また、トランプ政権の政策運営や、欧州主要国の国政選挙の行方に対する不透明感も根強く、堅調な動きが続いた。終値ベースでは、約 3 ヶ月ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.25 ドル高の 1 バレル＝53.36 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC 加盟国が非加盟国と合意した協調減産の期間を延長する可能性があるとの報道を受けて、買いが先行した。しかし、米国産の在庫積み上がりへの懸念を背景に下落する場面もあった。その後値を戻す動きとなった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、税制改革に大規模な減税が盛り込まれることに対する期待感を背景に、主要株価は堅調な展開で始まった。また、トランプ大統領が税制改革に言及していることで、期待感が高まっていることも材料視された。ダウ平均株価は、取引時間中、終値ベースの最高値を更新したが、連日の高値更新を受けて、利益確定の売りも出ており、終盤までレンジ内のもみ合いの動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標の良好な結果を受けて、ドルが主要通貨に対して上昇となり、クロス円も堅調な動きとなった。その後は、上昇していた米債券利回りが低下したことも影響し、投資家のリスク回避の動きなどから、ドル円・クロス円は終盤にかけて軟調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。